

【授業の概要と目的 (何を学ぶか) / Outline and objectives】

微分方程式で表されるさまざまな現象を数学的に記述し、考察するために必要な知識を、具体的な例を通して計算・論証を行うことで身につけることを目標とする。基本的な常微分方程式の解法を理解し、その実行に必要な計算力を身につける。特に、理工学のような場面で登場する1変数の未知関数の常微分方程式を中心にして、解法を解説する。

【到達目標 / Goal】

- 変数分離形微分方程式の一般解を求めることができる。
- 定数変化法を用いて、非斉次1階微分方程式の一般解を求めることができる。
- 非斉次2階線形微分方程式の解の構造を理解し、一般解を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連) / Which item of the diploma policy will be obtained by taking this class?】

ディプロマポリシーのうち、「DP1」と「DP2」と「DP4」に関連

【授業で使用する言語 / Default language used in class】

日本語 / Japanese

【授業の進め方と方法 / Method(s)】 (学期の途中で変更になる場合には、別途提示します。/If the Method(s) is changed, we will announce the details of any changes.)

授業開始時に前回の宿題の解説をする。また、レビューシートに書かれた内容を個人情報を除外した上で紹介し、全受講生にフィードバックする。
講義ののち問題演習の時間を取り、理解を深めてもらう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施 / Active learning in class (Group discussion, Debate.etc.)】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施 / Fieldwork in class】

なし / No

【授業計画 / Schedule】

回 / No.	テーマ / Theme	内容 / Contents
#1	微分方程式とは	微分方程式とはどのようなものか説明する。また、微分方程式を解くのに必要な微分と積分の基本計算を復習する。
#2	変数分離形	変数分離形の微分方程式の解法を紹介する。
#3	同次形	同次形の微分方程式の解法を紹介する。
#4	非斉次1階線形微分方程式	非斉次1階線形微分方程式を定数変化法で解く方法を紹介する。
#5	さまざまな1階微分方程式	ベルヌーイ、リッカチの微分方程式について説明する。
#6	1階完全微分方程式	1階完全微分方程式について説明する。
#7	2階線形微分方程式の解の構造	2階線形微分方程式の解がどのような構造になっているか説明する。
#8	定数係数斉次2階線形微分方程式	定数係数斉次2階線形微分方程式の解法について説明する。
#9	変数係数斉次2階線形微分方程式	変数係数斉次2階線形微分方程式の解法について説明する。
#10	非斉次2階線形微分方程式	非斉次2階線形微分方程式の解法について説明する。
#11	連立微分方程式	連立微分方程式の解法について説明する。
#12	境界値問題・初	微分方程式の境界値問題と初期値問題について説明する。

授業コード	H9264
年度	2021
学部・研究科	理工学部
旧科目名	
添付ファイル名	
カテゴリー <理工学部	創生科学科
>	学科専門科目
開講時期	秋学期授業/Fall
曜日・時限	木2/Thu.2
キャンパス	小金井
備考 (履修条件等)	
他学部公開科目	
グローバル・オープン科目	
成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	
実務経験のある教員による授業科目	

期値問題

#13	微分方程式の応用例	微分方程式がどのように利用されているか説明する。
#14	理解度の確認(試験と講評)	授業時間内に試験を実施する。また、試験後に学習内容を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等） / Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、4時間を標準とする】

事前学習は不要。

事後学習として、授業で扱った定義や例題・問題解答を理解し、類題を解くこと（これを毎回の宿題とする）。

【テキスト（教科書） / Textbooks】

「理工系のための微分方程式」, 牧野他著, 培風館, 2020

訂正情報は下記URLを参照のこと。

<http://www.f.waseda.jp/satoru/book/index.html>

【参考書 / References】

- (1)「理工系のための基礎数学 [改訂増補版]」高木他著, 培風館, 2020
- (2)「理工系のための微分積分」長谷川他著, 培風館, 2016
- (3)「理工系のための線形代数 [改訂版]」高木他著, 培風館, 2018

これらの訂正情報は下記URLを参照のこと。

<http://www.f.waseda.jp/satoru/book/index.html>

【成績評価の方法と基準 / Grading criteria】

到達目標を達成できているかどうか、「50点満点の試験」と「50点満点の平常時の課題・レビューシート」で評価し、合計得点60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき / Changes following student comments】

毎回の授業開始時にする前回の復習（主に宿題の解説）が好評なので継続するが、各自それぞれまでにしっかりと復習し、宿題をしておくこと。

【学生が準備すべき機器他 / Equipment student needs to prepare】

授業中は機器を使わないが、毎回のレビューシート回答時 (hoppii), そして大学実施の授業アンケート回答時にPCあるいはタブレット等が必要となる。

【その他の重要事項 / Others】

- (1) 教員免許状（中学校「数学」および高等学校「数学」）取得のための（解析学）必修科目である。
- (2) 授業の前後に講師室あるいは授業教室にて質問を受け付ける。
- (3) 授業の進捗状況については、下記ウェブサイトから当該科目の授業のページを参照のこと。

<http://www.f.waseda.jp/satoru/lec/index.html>